広報にしかわ

1982 10/25

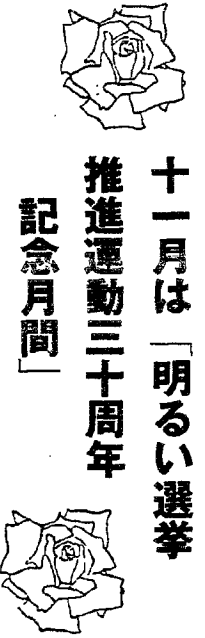
第319号

□ 発行／新潟県西蒲原郡西川町役場 □ 編集／総務課 □ 毎月10日・25日発行

秋の味覚を手に……

野を渡る風も、日増しに冷たくなります。そんな中で、色づいた柿を手にしてます。

この柿は、おけさ柿（八珍柿）といい、渋を抜いて喰べるもので、秋には欠くことのできないくだものです。

総人口 11,261（＋5） 男 5,447（±0） 女 5,814（＋5） 世帯数 2,567（±0） 9月末日現在（ ）内は前月比

十一月は「明るい選挙推進運動三十周年記念月間」

本年は、明るい選挙推進運動が組織的に推進されることになってから三十周年を迎え、十一月はその記念月間となっています。

そこで国や県では、この月間に記念式典や行事を行い盛大に三十周年を祝います。

また、町選挙管理委員会・明るい選挙推進協議会でも、三十周年を機に、より一層明るい選挙推進の啓発活動に努めますので、町民のみなさんのご協力をお願いいたします。

年末の資金手当はお早目に

＝国民金融公庫からのお知らせ＝

年末も近くなりましたが、年末資金のご準備はおすみでしょうか。公庫ではみなさまのご要望にそえるよう、年末資金の取扱いをしておりますので、手形決済、ボーナス支払い、商品仕入れなどの年末資金の必要な方は、お早目にご相談ください。

記

○融資額　一千八百万円まで。すでにご利用いただいている方もこの範囲内で重複してご利用いただくこともできます。

○返　済　五年以内、短期の取扱いもできます。

○利　率　年内は現行の年八・二%に据置かれますが、来年から〇・二%引き上げられます。

○このほか、設備資金は特定の場合、二千七百万円までご利用いただけます。

くわしいことは、お近くの商工会議所、商工会、または公庫へおたずねください。

国民金融公庫新潟支店
TEL〇二五二（二八）二一五一（融資相談係）

国民年金事業優秀で社会保険庁長官表彰

このたび国民年金事業の優良町村として社会保険庁長官から感謝状と記念品が贈呈されました。

これもひとえに町民各位の国民年金に対するご理解とご協力のたまものと心から感謝いたしております。

新潟県国民年金課長から表彰状が伝達される

アイバンク運動について

アイバンクというのは、角膜が悪いために、目が見えない人びとのために、角膜を提供する施設であります。

私達が本当に人様のお役に立ちたいと思った時、一番尊いのは金銭で買う事の出来ない身体の一部、この場合は、目をアイバンクに登録する事により、死んだ後で目の見えない人をくらやみの中から光のある世界へ導くことが出来るのです。

この運動を理解して戴くために、越後西川ライオンズクラブのメンバーが「ひかり」と言うプリントを、十月八日夕方曽根駅で通勤帰りの方々に手渡して、アイバンク運動に協力して下さるよう呼びかけました。

▲10月8日、曽根駅前にて協力を求める。

第三回奉仕活動を終わって

明るい社会づくり運動協議会西川支部
事務局長　加藤左武郎

十月九日、私達は今年度最後の奉仕活動を行いました。現場は升潟地域です。午前九時、鎧郷地域、曽根地域から応援にかけつけた五十名と升潟上中の会員十名、合計六十名が升潟神社に集結しました。

眞島会長の心のこもった挨拶、中原収入役から激励のご挨拶を戴いたあと町ご当局なさけの通学用バスは二十名を乗せて貝柄目ざして一路北へ。途中三ツ矢、升岡、大関で待ちかまえた十名と合流し、田村武男顧問宅前に集っていた十名とで合計四十名。

升潟神社に残った部隊を八木部隊と仮命名、直ちに作業に入り北進コースを。作業順路はじめ一切は八木部隊長の指示に従う。

一方、貝柄部隊は三ツ矢老人クラブ会長の山本孫三氏を部隊長として山本部隊と仮命名。田村顧問のねぎらいの言葉をいただいて直ちに南進コースを。一切は山本部隊長の指示による。両部隊の合流地点は旧升潟小学校の跡地という想定。(回収方法と回収袋処理は略す)

午前十一時作業終了。新川で待っている山本部隊を例の跡地へ運びここで本間副支部長から「ねぎらいのお礼の言葉」を戴いて解散。バスは升潟神社に待っているバイク、自転車、ウバ車の許へそれぞれの主人方をお返しして、これで本日の奉仕活動は完全に終わりをつげたというわけであります。

ここでこの度の作業活動をふり返ってみまして、次のことを皆さんと共に再認識をしたいと思います。

一　天、明社の活動に恵を投げか け下され、誠に空き缶日和で一、二、三回共思う存分作業出来た事改めて奉謝申上げます。

二　この度は信号機を横ぎるので各地からの応援者は足腰の丈夫な人を厳選したせいもあってか一人の事故もなかったことは、誠に有難い事と升潟神社のお護りに厚い謝意を捧げます。

三　隊員の輸送の面では役場から特に通学バスをご提供下さいましたが、予定の時間通りキチン、キチンとやってのけられたのもそのおかげと隊員一同心からお礼申上げます。

四　回収した袋数も前二回の三倍近くもあり、大きい実績があがりました。これは、八木、山本両部長さんの事前の綿密な作戦計画と作業隊員皆さんが、喜んでそれに服従して下さったおかげで作業活動にはこの気持ちがあってこそと、今更ながら敬意を表し、お互い様大ご苦労でしたと、ねぎらい合いたいものであります。

五　特に升潟地域の顧問さん方から事前計画の点で配車の件、警らの件をはじめ諸般のことで特段のご配慮を戴いたこと、並びに地域の婦人会の方々まで出動下さったこと、併せて鱸地区からは毎回圧倒的多数の出動を戴いたこと等をご紹介申し、これらをからめて深甚の敬意と感謝とを申上げます。

私達は作業活動を通して家庭内の、近隣の、地域の、暗い心を解きほぐしながら私達明社と似通った町内の各種団体さん方と相互扶助の立場で調整をとり、一面では志を同じくする会員を一人でも多くと望みつつ、遅々たる牛の歩みを続けたいと念願しておりますので、町民の皆様方何卒私達の「明るい社会づくり運動」に格別なご愛顧を賜わりますようにお願い申し上げまして筆をおきます。

▲十月九日、午前九時に集合。
眞島会長の挨拶。中原収入役の激励の挨拶。
加藤事務局長の説明により開会式を終了。

▲空缶を見つけたら、みなさんかけ足で拾います。

福祉年金証書をお返しします

昭和五十七年八月から昭和五十八年七月までの十二カ月分の年金が支給されることになりました。

定時届（受給権者本人の生存あるいは配偶者、扶養義務者との身分関係、生計維持関係の確認及び前年の所得状況等を審査して一年間の福祉年金を支給するか否かを決める）のため、役場へ提出されていた年金証書を、次のとおりお返ししますのでおいでください。

○日時　十一月九日、十日両日
　午前九時～午後三時

○場所　西川町老人いこいの家
　（西川荘）

※　升潟簡易郵便局（升潟農協）から支払いを受ける方は、十一月十一日から升潟農協へおいでください。

○持参するもの
　通知書（ハガキ）、印鑑（年金証書に押してあるミトメ）

○支払期日
①一回目の支払
　昭和五十七年十一月十一日から（八月、九月、十月、十一月の四カ月分）
②二回目の支払
　昭和五十八年四月十一日から（十二月、一月、二月、三月の四カ月分）
③昭和五十八年八月十一日から（四月、五月、六月、七月の四カ月分）

なお、八月の支払い（三回目）をうけてから定時届のため、証書を役場へ提出してください。

○福祉年金の改正後の年金額
　老齢福祉年金、障害福祉年金など改正後の年金額が表のように支払われることになりました。

住民課

福祉年金の改正後の年金額

給付の種類		改正前	改正後
老齢福祉年金	全額支給	円 288,000	円 301,200
	一部支給停止（所得制限）	276,000	279,600
障害福祉年金	1　級	432,000	452,400
	2　級	288,000	301,200

文化の香りでいっぱい
第一回 西川町文化祭おわる

西川町文化協会主催による第一回「西川町文化祭」が、十月九日から十一日まで福祉会館を会場として開催されました。

催しは、展覧会・煎茶会・舞台発表会の三つを幹にして行われました。

展覧会は、書道・生け花・絵画・つまみ絵・文化刺繍などの作品が三日間展示され、出品者の熱心な稽古ぶりがうかがえる作品に、訪れた人達も感銘し、暫し足を止めておりました。

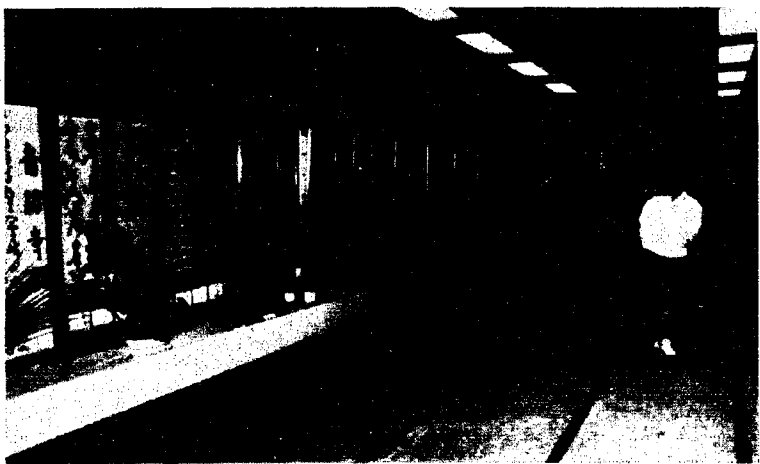
また、煎茶会は、日頃このような催しになれない人達も文化祭という気安さもあって、一諸に来たお友達や家族と誘いあいあって茶席に着き、煎茶のお手前を拝見し、隣りの席の人から作法を教わりながら多数の方がたが「茶」を味わっていました。

十一日は、午後から講堂で芸能発表が行われ、詩吟・日本舞踊・コーラス・バンド演奏・謡曲といった多彩な舞台発表が行われ、お子さんの踊りや近所のお母さん、お父さん達の出演に大勢の観客が集まり、素晴らしい舞台に魅せられておりました。

この文化祭は、今年の四月に結成されたばかりの西川町文化協会の会員の人達によって計画され、今回参加したどのグループも休日や夜の時間を工夫して集まり、稽古練習を重ねてきたその成果を発表したものです。

私共、文化協会は年令や性別などに関係なく、自主的グループ又は好ましい会に入って「習いたい」、「学びたい」と思う方ならどなたでも加入することができます。

加入ご希望の方はお気軽に事務局（西川町公民館）にお申し込みください。

西川町文化協会

国民年金制度推進月間
これからの年金を今から考えましょう

◆　制度を発展させる目的

十月一日から、「国民年金制度推進月間」が、全国一斉にはじまりました。この月間の目的は、国民年金をよりよい制度に発展・充実させるために、県民のみなさんに、制度の内容や仕組みを知ってもらうとともに、制度に対する理解を一層深めてもらうことにあります。

◆　年金は世代と世代の
　助け合いの仕組みです

老後の暮らしの大きな支えとして頼られている公的年金制度は、働く若い人たちがみんなでお年寄りを支える、いわば世代と世代の助け合いの制度です。

公的年金制度には、サラリーマン・農業・自営業など、現役の勤労世代のすべての方々が加入しており、その総数は六、〇〇〇万人にものぼっています。

また、現在一、七〇〇万人もの方がたが公的年金を受給しており、今日では、お年寄りや身体に障害のある方、一家の働き手を失った方がたの生活を支える大きな柱として、なくてはならない制度となっています。

◆　公的年金の水準は
　働く若い世代の力で
　支えられています

個人の力には限界があり、すべての人が独力で老後の備えを行うことは、なかなか困難なことです。

公的年金制度は、この個人で行う老後の備えを、社会全体の扶養で行おうというものです。したがって、若い世代がみんなでお年寄りを支えるという仕組みをとっている公的年金制度だからこそ、物価が上昇しても年金額が目減りしないような措置をとったり、生活水準の向上に応じた給付水準の引き上げを行うことが可能なのです。

また、公的年金は、五年に一度制度全体の見直しが行われ、年金水準についても、その時の生活水準を考慮して改定を行っています。

さらに、見直しが行われるまでの間については、物価上昇により年金額が目減りしないように、消費者物価の変動に応じて年金額の物価スライドを行っています。

一方、制度を支える働く若い世代の負担も、年金額の引き上げに伴い、給付とのバランスがとれるように、また、急激な負担増にならないように、段階的に引き上げられており、今年度の国民年金の保険料は、月額五、二二〇円となっています。

◆　高齢化社会に
　ふさわしい年金制度を

年金の給付水準は、老後生活の基盤を支えるに足るものでなければなりませんが、同時に、制度を支える働く若い世代の生活水準や負担能力とのバランスもとれたものでなければなりません。

思いやりのある人間関係、家族や地域社会の助け合いなど、私たちの社会が持つ特性を生かしながら、わが国にふさわしい高齢化社会を築いてゆく必要があります。

世代と世代とのバランスのとれた安定した制度をつくり上げていくためには、どうすればいいのか、この大切な制度を、世代から世代へと無理なくバトンタッチしていくためには、今から何をすべきか、これからの年金を、今から考えたいのです。

このような時期に行われる「国民年金制度推進月間」は、大変に意義のあるものといえましょう。

本県の場合、県・社会保険事務所・町が一体となり、また、年金委員のみなさんなどの協力を得ながら、それぞれの分野で国民年金制度への理解を呼びかけていくことにしています。（住民課国民年金係）

精神衛生相談のお知らせ

とき　十一月一日（月曜日）
　午後一時より二時まで

ところ　西川荘（当日、西川荘は休みですので、お気軽におでかけください。）

相談員　佐潟荘　小串先生

個人の秘密は厳守致します。

精神衛生とは、精神病にかかっていないことをいうのではなく、心の健康を保つことをいいます。精神が健康でなければ、家庭生活や社会生活を円満に営むことができません。身体の健康だけでなく、精神（心）の健康にも努めましょう。

次のような症状がありましたらお気軽に相談においでください。

●子供の場合
　指しゃぶり、爪かみ、目をパチパチしたり首をふる、夜尿、尿の回数が多い、内気、無口、おちつきがない、わがまま、かんしゃく、どもり、乱暴、うそつき、ぬすみ、夜泣き、失神、ひきつけ、眠らない、登校拒否、家出、性的非行、知恵おくれなど。

●おとなの場合
　いらいらする、疲れやすい、おちつかない、気分が沈む、意欲減退、死にたい、気分が朗らかすぎる、不安や恐怖心が強い、頭が重い、浪費ぐせ、眠れない、食欲がない、乱暴、放浪など。

●お願い
　時間の関係上、おいでになりたいかたは、九月二十九日までに保健衛生課、保健婦までお申し込みください。

老人いこいの家裏にゲートボール場完成

ゲートボールは、老人向けスポーツとして体を動かし健康づくりと社交の場も合わせ、年々盛んになってきました。町老人クラブにはゲートボール場はなく西川竹園高校のグラウンドや神社の境内を借用したりで不自由していましたが、このほど老人いこいの家裏に、お年寄りの勤労奉仕もあり、予定より早くゲートボール場が完成しました。場所が狭く正規なグラウンドとはいわれませんが、ゲートボール専用ということで喜びはひとしおです。

この施設は県の老人ふれあい事業の一部として整備したもので、この事業には、この他に、在宅者ふれあい訪問、ボランティア活動の促進等が計画されています。県は五十七年度から五ケ年間で四十市町村を指定し、実施計画をたてていますが、早速できあがったゲートボール場には、近郷で開催されるゲートボール大会に備え、ボールを打ち込む老人の姿も見えます。

簡単なルールで誰にもできるゲームです。一度試みたらどうでしょうか。

新潟みずほ園文化祭バザーのご案内

日時　昭和57年11月7日(日)

午前10時～午後3時

場所　新潟みずほ園

内容
- 作品展示（入所者の作品を展示）
- 演芸（のど自慢大会、ニュースター生演奏）
- バザー（カレー、あづき湯、コーヒーとケーキ、おみやげ）
- 即売（寄贈品、エプロン、その他）
- 金魚すくい、健康ボール（各1回50円）、インベーダーゲーム（1回20円）

※　おさそいあわせの上、ご来園ください!!

問い合わせ　新潟みずほ園内バザー委員

（☎0252―62―0044）へ。

昨年のバザーです。

歯ブラシの選び方

歯を上手に磨くためには、使いやすい歯ブラシを選ぶこともたいせつです。

大きさは、下の前歯の裏側に横にしていれられるくらいのものを、大人用で、約二・五センチほどが適当です。ブラシの部分が大きすぎると、口の中でよく動かせません。

どこを磨くにも力が均等に入り、毛足が歯間に十分届くためには、毛先の形は一直線、毛の長さが一・二センチくらいのものを選ぶとよいでしょう。

毛束が、ギッシリうわっているものは、毛についた食べかすが落としにくく、洗ったあと乾きにくいなど、不潔になりやすいので、ほどよくすき間のあるものを選んでください。

磨くと血が出るから、と軟らかいブラシを使っているのでは効果は上がりません。歯ブラシをとりかえる時、今使っているものより、一ランク硬いものを選び、徐々に慣らしていくようにしてください。

石油ストーブなどを安全に取り扱おう

冬季を迎え、家庭や事業所では、ストーブなどの暖房器具を使用する機会が多くなることと思います。

昭和五十五年中のストーブによる火災は、二千六百七十五件発生し出火原因別順位も第七位となっており、損害額は百二億七千四百万円にも達しています。なかでも、石油ストーブによる火災が最も多く千九百二十七件発生し、ストーブによる火災全体の七十二%を占めています。そこで、石油ストーブによる火災を防ぐために次の注意事項を守りましょう。

一、石油ストーブと周囲の可燃物とは一定の距離を取りましょう。この距離は、石油ストーブの種類、構造に応じて石油燃焼機器の設置基準により定められています。

二、使用開始前には、十分な点検・整備をしましょう。なお、安全装置等の点検・整備については、専門家に依頼することが必要です。

三、使用中は、ストーブを使用している場所から長時間離れないようにしましょう。もし離れる場合は、いったんストーブを消しましょう。

四、地震等の震動によって物が落下しやすいような場所での使用は避けましょう。

五、地震に備えて、対震自動消火装置付きの石油ストーブを使用しましょう。

六、不燃性の床や台の上で使用するとともに、転倒しやすい状態で使用しないようにしましょう。

七、燃料の補給は、その燃料が器具に適しているものかどうかを確認した後、必ず消火してから行いましょう。

八、周囲は常に整理整とんし、可燃物は置かないようにしましょう。

九、使用に際しては、その器具の取扱説明書に定められている事項をよく読んで、その器具特有の性能によく注意しましょう。

十、共同住宅で灯油かんをベランダに置くと、これを媒体にして上下階に延焼するおそれがありますので、やむをえず置く場合は次の点に注意しましょう。

○できるだけポリタンクをやめ金属かんを使うこと。

○壁ぎわに置くとともに、トタンやベニヤ板などのしゃへい板のかげになるようにすること。

年末調整説明会

昭和五十七年分の源泉所得税の年末調整説明会が、巻税務署の主催で左記のとおり開催されます。

年末調整にあたって特にご注意いただく点などの説明がありますので、ご多忙中とは存じますが、ぜひ出席されますようお知らせします。

記

一、月日　十一月九日

二、時間　午前十時

三、会場　西川町商工会館

～夜間の交通事故に気をつけましょう～

一日一日、日照時間が短かくなり、夜が長くなります。そのため薄暮時の交通事故、特に歩行者、自転車の被害事故が増えます。これは視力や視界が悪くなるのに、歩行者や運転者が昼と同じ注意と方法で行動するためです。

事故を起こしたり、被害にあわないよう次の点に注意してください。

＝スピードは控え目に＝

夜間は、交通量や人の動きが昼間にくらべて少なくなっていることに気を許して、ドライバーはスピードを出しがちになります。

しかし、昼間にくらべて視界は悪く、また、多くの光線が交錯するので、ドライバーから見て歩行者や自転車利用者が〝蒸発現象〟を起こすことがあります。ドライバーは昼間よりも悪条件であることを認識してスピードを控え目にし、歩行者、自転車それに他の車の動きに注意して、前方を直視しながら、いつでも危険をさけることができる安全運転が大切です。

＝飲酒運転をしない・させない＝

夕やみが迫るころ家路につく季節です。同僚や友人と盃を重ねたくなるのもこの季節です。秋の行楽とも重なり、例年、飲酒運転に起因する交通事故が増加する時期です。

運転者本人はもちろん、同乗する人や周囲の人びとも、「飲んだら乗らない」、「乗るなら飲ませない」、「運転する人には飲ませない」という飲酒運転の三ないの鉄則を守りましょう。

＝横断は安全を確めて＝

この時期には、横断歩行者の被害事故が増えます。特にお年寄りの横断事故です。

歩行者は、車の直前直後の横断や、急なとび出しは絶対にやらず、一時停止と左右の安全確認を励行しましょう。

＝反射材の活用を＝

薄暮時から夜間における歩行者、自転車事故のほとんどは、ドライバーの発見遅れのため起きています。

歩行者、自転車乗りは懐中電燈を携行したり、服装も白っぽいものにしたり、夜光反射材を足もとや自転車に貼るなど、夜間でもドライバーから見えやすい目立つものにするよう工夫しましょう。

歩行者、自転車乗りの交通事故防止

＝ドライバーは＝

◎交差点での右、左折に注意
◎裏通りはできるだけ避ける
◎夜の無燈火自転車に注意
◎ドアの開閉に注意

＝歩行者、自転車乗りは＝

◎一時停止と安全確認の励行
◎なるべく目立つ色の服装や反射材の活用を
◎並列進行や道路上でのふらつきはやらない。

～町の声～

自句自解

加藤　天涯

秋深く人生を説く女かな

戦後の荒廃期であった。

数人の友達がいたが、みんな寂しかった時代で、春秋二回、Nさんの庵（いおり）に集まって、乱ち騒ぎをやって浩（こう）然の気を養っていたが、その中にAという女がいた。Aは戦争未亡人だった。

一本のビールに陶然として、Nさんの弾く三味線にAは歌った。みんなも歌った。恥も外聞もなく歌って、しばし浮き世を忘れるのだった。

いつの間にか夜が来て、ろうそくの火影に語り続けた。話術に長（た）けたAさんだったが、今は亡い。

○

はらからや重なりおうて栗を焼く（昭和初期）

菊展の会場となる神社かな

大菊の鉢重ければかがみ持つ

灯を消せば月の流るる畳かな

月天心このまま弥陀（みだ）の浄土かな

（加藤天涯遺稿）

◇

加藤数馬氏。矢島の産。俳号を天涯という。若いころから俳句をたしなみ、しかも月並み調をきらって、たえず新鮮さを求めて精進。老境にいたっては、菊作りもかかせない趣味となった。俳句を愛し、菊作りを楽しんだ加藤天涯の晩年の心境が上掲の最後の句ではないだろうか。この郷土の誇るに足る風流人も十月九日、忽（こつ）然、浄土へ去った。八十三歳。

追悼

主なくて黄菊むなしく咲いている

大輪のかなめ（要）の一葉落ちにけり　（十）

里親制度

～子どもたちに暖かい愛の手を～

家庭の事情や親の無責任などによって家庭に養育できず、家庭の愛にも恵まれない子どもを親にかわって乳児院や養護施設で育てられています。

これら児童福祉施設または親にかわって養育をしてくださる家庭を「里親」と呼んでいます。

里親には養育里親と養子縁組希望里親があります。いずれも、いい子どもがほしいという気持ちよりも、子どもを幸せに育てるために、ご自分の家庭を提供するという考えを基本にして養育していただくものです。

里親の条件は、

里親になるためには、次のような条件が必要とされています。

一、子どもの養育について理解があり、しかも熱意と愛情をもっている方。

二、精神的にも経済的にも健全な明るい家庭。

三、子どもの労働力の搾取とか委託費の詐取を目的とするものでないこと。

四、里親の家庭に、委託される子どもと同年齢の子どものいないことが望ましい。

その他

養育をお願いする子どもたちは家庭環境に恵まれないため心に傷を持っていると思われますが、これをいやす暖かい愛情を強く求めています。このような子どもを育てることで難しい出来事や悩み事に直面した時にもくじけず愛情を持って接し続けてくださる方を求めています。

委託費

里親は施設と同じように親にかわって子どもを育てていただく仕事ですから、子どもの年齢に応じてきまった額の委託費が支給されます。

里親の種類

〈長期里親委託〉

親の入院や行方不明等により家庭で育てられなくなった子どもを長期間お願いして、親もとに再び帰り、又は満十八歳になって独立するまで育てていただくものです。

〈短期里親委託〉

母の出産や急病、その他緊急の理由により家庭で育てられなくなった子どもを一時的におおむね一カ月から一カ年の期間の予定でお願いするもので、子どもの家庭とできるだけ同じ地域の里親にお願いするようにしています。

〈一日里親〉

施設にいる子どもも、お正月やお盆にはできるだけ自分の家に帰って家族と過ごすようにしています。その時、帰る家のない子どもを二日～六日間位の予定で里親にお願いして、家庭の雰囲気を味わせるというものです。

※　里親制度についての詳しいことは新潟中央児童相談所（電話〇二五二－六六－七一九六番）又は役場住民課福祉係（電話三一一一内線二六番）におたずねください。

新潟県健康づくり県民大会に参加して

新川　渡辺美代子

秋風のここちよい九月二十二日新潟県健康づくり県民大会に参加させていただきました。

新発田市文化会館の優雅な会場に息をのみ、県民大会という大きな会に参加し、未熟な私は、開会寸前まで不安なときめきがあったのが正直な気持ちです。

「これから急速に迎える高齢化社会に対応するために県民一人ひとりが生涯を通じる健康づくりを日常の実践活動として定着させよう」ということで、各関係団体は懸命な活動を続けていると、主催者の挨拶がありました。

そんななかで感じたことは、病気なんて……とか、まだ若いからと思ってはいてもいずれ自分だってその社会に入らなければならないのだからせめて今一度将来の自分をみるためにも健康づくりを見なおし、健やかで明るい人生を送れたら…そのためにも各地域での検診や健康相談、催し物などには積極的に耳を傾け、足を運ばせたいと思いました。

午後からのシンポジウム「みんなで進める健康づくり」サブタイトル、～協力とふれ合いの中から～では、それぞれの分野で活躍しておられる中央からの講師の先生方と地元の先生方のみごとな話題のつながりにとっても心地よいものがありました。

厚生省からの川治先生、食生活の松谷先生、医師会・歯科医師会の先生方の専門的な意見や話、そして何よりも会場をなごませ楽しませてくださった体操の池田敬子先生、軽やかでユーモラスな話題には強く印象づけられました。

「皆様!!約束してください。明日から手を使わないで、もち論口も使わずに、立ったり座ったりしてください。そしたら随分姿勢もよくなり丈夫になれますよ!!」とか息子達のお嫁さんの条件etc。いづれ姑となる自分の幸福のためのわがままだ、ときりげなく話し、「愛するダンナ様を早死にさせる法教えてあげます。」

一、お酒をたっぷり飲ませる。

二、野菜を少く、肉はたっぷり食卓へ。

三、丸々太らせ、もちろん、仕事も運動もいけません。

四、タバコは煙突のようにプカプカと……そして仕上げに

五、耳元でグズグズと文句をささやき、夜更かしの手伝いをして、等々。

さらりとした不思議な話術にのせられて会場は沸き、一つに盛り上り、とてもステキなふれ合いと感動の渦が拡がりました。朝は、からっぽだった私の頭の引き出しに“健康づくり”という知識がつめられ素晴らしく大きな収穫を胸に、早く子供達に話してやりたいと思いながら帰りのバスに乗せてもらいました。

“ほほえみ健やか明日を育てよう”のクローバー運動のリズムを口ずさみながら、とてもさわやかな気分でした。

こんなよい機会を与えてくださった周囲の皆様に感謝をしています。これからも一人でも多くの方が、こういう機会を体験できたらナァと思いました。

所得税第二期分の納税は十一月一日から三十日まで

所得税の予定納税第二期分の納期は、十一月一日から十一月三十日までです。

納税する額は、既に税務署から通知してありますので、その通知書の金額を納めてください。

十一月三十日までに納税されない場合は、未納となっている税額のほかに、延滞税も納めていただくことになりますのでご注意ください。

納税には、便利な振替納税の制度があります。この振替納税制度は、銀行などの預貯金口座から自動振替によって納税できる制度です。この制度は、納税のための手数がかからずに済み、大変便利ですから是非、ご利用ください。

くわしくは最寄りの税務署・税務相談室へおたずねください。

税を知る週間

国は、私たち国民が豊かで安定した暮らしができるように、いろいろなしごとをしています。

税金は、国がしごとをするための大切な財源となっています。また、税金は、私たちの日常生活においてもいろいろな面でかかわりあっています。このように身近な税金について、その仕組みや使いみちなどを皆さんに正しく理解していただく必要があります。

そこで、国税庁では、今年も、十一月十一日㈭から十七日㈬までを「**税を知る週間**」とし、この期間中「**この社会あなたの税が生きている**」をメインテーマに、税に関する資料展、デパートなどでの臨時税務相談所の開設、租税教室などの行事を全国的に幅広く行います。

税の役割を知っていただく絶好の機会です。あなたも、各種の行事にお出かけになりませんか!

行事の開催日時などについては最寄りの税務署へおたずねください。

今月の納税

- 町県民税　第三期分
- 国民健康保険税　第三期分

☆納期限　十一月一日

※納税には便利な口座振替制度をご利用ください。

頑張っています！

西川町体操クラブ

九月十二日分水町総合体育館において、第七回新潟県ジュニア体操競技選手権大会が開催され、西川町体操クラブから小学生・中学生男女九名の選手が出場しました。

大会成績は次のとおりです。

なお、この大会で山崎雅弘、田中義人、渡辺英樹の三選手が十一月十四日上越市で開催される新潟県体操競技選手権大会の出場資格を得ました。

▲床運動（分水町総合体育館で）

大会成績

○印の数字は順位を表わします

小学生男子	マット	あん馬	跳　箱	鉄　棒	合　計
渡辺英樹	④ 7.65	⑱ 4.30	㉓ 6.85	⑯ 4.85	⑯ 23.65
山崎雅弘	⑤ 7.60	㉕ 4.00	⑩ 7.90	⑰ 4.80	⑬ 24.30
田中義人	⑨ 7.45	⑯ 4.45	㉔ 6.80	⑪ 5.15	⑭ 23.85
畠山哲也	⑭ 6.50	㉒ 4.15	⑱ 7.25	⑱ 4.50	⑳ 22.40
チーム(ベスト3)	22.70	12.90	22.00	14.80	④ 72.40
個人参加玉木智也	㉑ 5.65	㉙ 3.90	⑱ 7.25	⑮ 5.00	㉒ 21.80

小学生女子	跳　箱	鉄　棒	平均台	マット	合　計
加藤理恵	⑯ 6.90	㉜ 5.75	㉘ 6.85	㉗ 7.45	㉕ 26.95
相馬陽子	⑫ 7.05	⑲ 7.10	⑲ 7.25	⑫ 8.00	⑲ 29.40
加藤佳恵	㉚ 6.25	㊵ 5.50	⑯ 7.35	⑰ 8.00	㉖ 26.90
チーム(ベスト3)	20.20	18.35	21.45	23.25	⑦ 83.25

中学生男子	床	あん馬	跳　箱	鉄　棒	合　計
小野塚　一昭	⑳ 7.60	㉗ 5.30	㉘ 7.55	㉔ 5.45	⑳ 25.90

第17回　町民バスケットボール大会

10月10日（日）西川竹園高校体育館において、第17回町民バスケットボール大会が行われました。

大会には、一般の部８チーム、女子の部２チームが出場して熱戦がくりひろげられました。

今回は女子の部に２チームの参加があり、大会を一層盛り上げました。

試合結果は次のとおりです。

一般の部

- 優　勝　役場Ａチーム
- 準優勝　オールスターズチーム
- ３　位　西川中ＯＢ（大沢チーム）
- ３　位　西川中３年生チーム

女子の部

- 優　勝　役場チーム

▲優勝の役場チーム。

一般の部

優勝

53　42

57　28　48　40

33　16　31　14　53　4　26　34

①役場A　②トミーズ　③西川中ＯＢ　④西川中一、二年　⑤オールスターズ　⑥役場Ｂ　⑦西川中三年　⑧西川中ＯＢ（ふなむし）

29　24　10　28

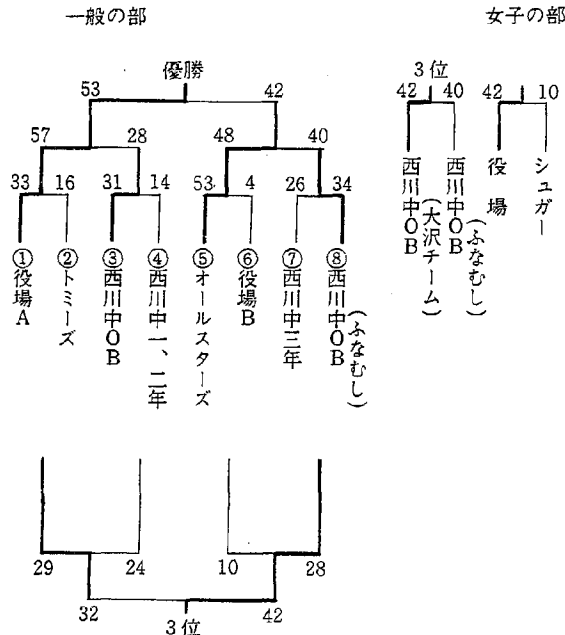
32　42

3位

女子の部

3位

42　40　42　10

西川中ＯＢ　西川中ＯＢ（大沢チーム）　役場（ふなむし）　シュガー

第一回町民軟式テニス大会終わる

十月十日（体育の日）西川町営テニスコートにおいて、第一回町民軟式テニス大会が開催されました。

今回は、第一回の大会とあって軟式テニス同好者の感心も高く、一般の部は九チーム、中学生の部は十一チームが参加しました。

一般の部は、三ブロックにわかれて予選リーグ戦を行い、各ブロック勝者が決勝リーグ戦に進出して優勝を競い合いました。

中学生の部では、十一チームによりトーナメント戦を行いました。

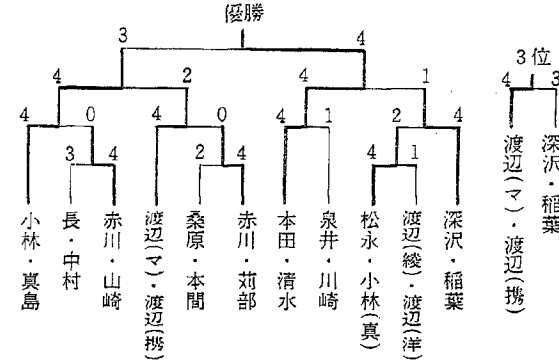
大会成績は、次のとおりです。

〈一般の部〉

- 優　勝　小林和道・小林美里組
- 準優勝　堀野安幸・岩田ちい子組
- 三　位　水沢栄作・五十嵐盛弘組

〈中学生の部〉

- 優　勝　本田　歩・清水尚美組
- 準優勝　小林美佐子・真島有里枝組
- 三　位　渡辺マリ子・渡辺拶子組
- 三　位　泉井友里江・川崎真由美組

中学生の部

高砂学級　郡内を視察

西川町高齢者教室「高砂学級」では、施設めぐりと郡内の老人クラブとの交流を行うことにし、去る十月十三日に味方村及び黒埼町の施設をめぐるとともに老人クラブとの交換会を行いました。

味方村では、重要文化財笹川邸（旧大庄屋）を見学した後に味方村老人いこいの家「楽友荘」に交換会を行い、その利用状況及び味方村の高齢者教室の実態について助役さんやクラブの幹部からつぶさに説明をしてもらいました。

味方村では、特に陶芸教室に力を入れており、楽友荘の敷地内に総工費七〇〇万円の陶芸施設があり、老人生きがい対策に一役買っているようでした。

続いて新しく黒埼町に新築移転された新潟日報社を見学し、コンピューターによる編集や新しい技術での印刷方法（オフセット印刷）について説明を受けましたが、時間の都合で印刷しているところは見られませんでした。しかし新鋭な機械とはいえ、思ったよりせまく感じた構内に朝刊四十万部、夕刊十数万部を印刷するとは想像もできませんでした。

最後に黒埼町老人いこいの家黒埼荘で昼食を食べたあと黒埼町老人クラブと交換会を行いました。

ここでもいこいの家の運営状況や単位クラブの活動状況の説明を受けました。

黒埼町とは互いに隣接しており今後ともいろいろ交流を深めたいなど熱心な意見交換が行われました。

味方村、黒埼町の老人クラブの方がたと一日ゆっくり心と心のふれあいができ、たいへん有意義な施設めぐりでした。

▲黒埼町老人クラブと意見交換

職業訓練生募集〈新発田総合高等職業訓練校〉

一　募集人員

科名	機械科（機械組立専攻）	機械科（機械加工専攻）	製かん科	電気機器科	自動車整備科	建築科	木工科	塗装科	計
定員	20名	40名	20名	20名	25名	25名	20名	25名	百九十五名
期間	2　年								
対象	男・女	男・女	男	男・女	男・女	男	男・女	男・女	

二　応募資格　中学校又は高等学校を卒業した人、又は来春卒業見込みの人で、修学の意志堅固な人。

三　申込期間　（第一次試験）昭和五十七年十一月一日～十一月十五日　（第二次試験）昭和五十八年三月一日～三月二十二日

四　選考日　（第一次試験）昭和五十七年十一月二十六日(金)（第二次試験）昭和五十八年三月二十三日(水)

※　転職者の職業訓練やそのほか詳しいことについては、職業訓練校へお問い合わせください。

（☎〇二五四二―三―二二六八）

＝町民ハイキング＝

角田登山……

秋のハイキングを行います。みんなで角田山を登りましょう。

・日　時　十一月三日（文化の日）
　午前九時集合
　午前九時三十分出発

・集合場所　西川町福祉会館

・コース　福祉会館→稲島口→角田山頂→稲島口～福祉会館

・交通の方法　小学生三年以上は自転車で、その他の人は車で送迎します。

・参加料　一人　一〇〇円

・昼食やおやつ等　各自持参

・詳しくは公民館へどうぞ

※　雨天の場合は中止します。

社会福祉法人新潟みずほ福祉会「みのり園」職員採用試験

昭和58年4月1日開所予定のミニコロニー「みのり園」職員採用試験を下記の要領で行います。

1．受験資格

一般的条件

ア．新潟市西蒲原郡内町村に住所又は本籍を有する者。

イ．採用後は、施設への通勤が容易な地域に居住できる者。

2．採用職種、条件等

職種	採用予定人員	職務内容	受験資格	
一般事務員	男性1人	庶務、予算、決算（経理は複式簿記）渉外等一般事務、管理	昭和28年4月2日以降に生まれた者	高校卒業程度以上又は同見込みの者で複式簿記の知識を有する者
指導員	性別不問 若干名	入所者の生活指導、作業指導	昭和18年4月2日以降に生まれた者	(1) 大学において、心理学科、教育学科又は社会学科を修めて卒業したもの、又は58年3月31日までに同学科を修めて卒業見込みのもの (2) 保母の資格を有するもの、又は58年3月31日までに保母資格取得見込みのもの (3) 社会福祉主事の任用資格を有するもの (4) その他精神薄弱者の更生援護について学識経験を有するもの
介助員	男性1人	指導員の補助、設備管理、諸連絡等の業務	昭和18年4月2日以降に生まれた者	高校卒業程度以上の学力を有するもの
看護婦	女性1人	入所者の生活指導、看護、保健衛生指導	昭和28年4月2日以降に生まれた者	看護婦の資格を有するもの、又は58年3月31日までに資格取得見込みのもの
栄養士	女性1人	給食計画、給食経理、調理指導調理実施	昭和28年4月2日以降に生まれた者	栄養士の資格を有するもの、又は58年3月31日までに資格取得見込みのもの
調理員	女性 若干名	調理実施、食堂、厨房等の管理	昭和18年4月2日以降に生まれた者	高校卒業程度以上の学力を有するもの
庁務員	男性1人	庁内外諸用務、施設管理、車輌ボイラー運転、事務補助	昭和18年4月2日以降に生まれた者	高校卒業程度以上の学力を有するもの 普通自動車及び大型自動車運転免許を有するもの

3．試験の内容等

(1)　第一次試験

内　容　　高等学校卒業程度の内容で、一般教養について筆記試験並びに作文試験を行います。

試験日　　昭和57年12月4日(土)

4．受験申込等

(1)　受付期間

11月10日(水)～11月20日(土)　午前8時30分～午後5時（土曜日は正午）

郵送の場合は、昭和57年11月20日までの消印のあるものに限り受け付けます。

郵送先は、新潟市小見郷屋107番地2社会福祉法人新潟みずほ福祉会へ直接提出してください。

(2)　受験申込用紙の請求

受験申込用紙は、社会福祉法人新潟みずほ福祉会及び役場住民課福祉係で交付します。申込用紙を郵便で請求する場合は、封筒の表に赤字で「受験申込用紙請求」と書いてください。また、60円切手をはり、あて先を書いた返信用封筒を同封してください。詳しいことは、新潟みずほ福祉会（☎0252―62―0044番）又は、役場住民課福祉係（☎3111　内線26番）へお問い合わせください。

ぼくの作文

曽根小五年　佐々木　亮

ソフトボール大会

八月二十二日、西川中学校のグラウンドで第一回少年少女ソフトボール大会が行われた。

ぼくは、鱸チームの選手として出場した。

試合の日には、曇りとなり、試合をするには絶好の天候となった。出場チームは十六チーム、メンバーは二百人を超す人々でにぎわっている。

開会式を終えた後、試合開始。鱸の第一試合は、八、九番町、善光寺とやり十対三で鱸が勝った。みつる君の好プレーもあり、まなぶ君のランニングホームランもありで、ゆうゆう、八、九番町、善光寺を勝ちぬいた。

第二試合は、六分Aとやり十六対五でまたまた勝った。チーム全体活躍したが、五回の裏に五点も取られてあぶなかった。

ここでお昼になり、公民館で、ごはんを食べた。なおき君のお父さんが、

「優勝できるかもしれないぞ。」

と、言ってくれた。うれしかった。がんばらなくちゃと思った。

第三試合、押付とやった。

「おねがいします。」

この声が、第一、第二試合とくらべると、大きく、はりきっているように聞こえる。これならいけるぞ。だが、一回表に一点入れられてしまった。なにか、不安な気持ち。しかし、三回裏の攻撃で、多くの得点を取った。ぼくも、バントを何本も打ち活躍した。それで、十五対一で決勝戦へコマを進めた。

決勝戦の相手は升潟下とやった。試合をする前の練習を見た。なかなかすごい。選手の動きもすばやく、小学生とは思えないほど上手だった。勝てるかなぁと心配だった。とても、チームプレーがうまかった。しかし、鱸も負けてはいられない。ぜったい優勝しなければ気がすまない。

「おねがいします。」

とうとう決勝戦が始まった。むねがドキドキした。一回、二回まで無得点だった三回裏、ぼくが、バントヒットで出て、一点入れた。むねがわくわくした。また、サードのエラーで一点入れた。二対〇だ。しかし最終回に入って、エラーやヒットで一点取られた。だが、センターフライを水野君が取った。

「やったー。優勝だぁー。」

ピッチャーと握手した。みんなニコニコ顔。応援の人たちもうれしそうだった。夏休み中、朝早く練習したかいがあった。夏休み一番の思い出になった。

お年玉つき年賀葉書

11月5日から発売!!

昭和五十八年のお年玉つき年賀葉書は、十一月五日から郵便局及び切手売り捌所で発売いたします。お早目にお買い求めください。

寄附金つき年賀葉書は、今年から寄附金が一円から三円になりました。この葉書の裏面には、新年にちなんだ寿の絵が（三種類）印刷されており、売価は四十二円となりますので、寄附金つきの年賀葉書は、一枚四十五円となります。

当局の発売枚数

四十円　　十六万四百枚

四十五円　一万五千六百枚

曽根郵便局

議会情報

月日	事項
九月二十九日	民生常任委員会開催（二村・本間（寅）・古俣・鈴木・堀内各議員出席）
三十日	町村会との自治懇談会・巻町（議長出席）
十月二日	正副議長・常任委員長会議（議長・岡田・二村各常任委員長出席）
三日	秋季消防演習・鎧郷小学校（議長出席）
六日～七日	巻町外三ケ町村衛生組合議員視察研修・阿賀北広域組合・下越清掃センター組合（吉崎・二村・田村各議員出席）
八日	県下町村議会議員研修会・新潟市（議長外十七名出席）

プラネタリウム投映のお知らせ

○とき　十一月十日
　午後七時三十分から

○ところ　福祉会館　児童室

○内　容

・オリオン座の物語

・十二月の空

明るい星のない秋の夜空で、星座さがしの目じるしになってくれるのは、頭上に見える〝ペガサスの大四辺形〟です。

図書室などで星座の形を見つけて、夜空の大四辺形をさがしてみてください。

西川町公民館

昭和58年度 新入園児募集（和光幼稚園）

○募集人員　三才児　三十五名
四・五才児　若干名
○申込受付　昭和五十七年十一月一日から十一月三十日まで
○保育料　月額　一万円
○給食費　月額　三千円（米飯を主とする完全給食）
○教育方針　文部省所定の幼稚園教育要領により、かつ、仏教的雰囲気のなかで全人教育に努める
○特典　町民税の所得割課税額が十万円以下の四・五才児の保護者には年額十万三千円・八万円・四万六千五百円の三段階（昭和五十七年度）で幼稚園就園奨励費が交付されます。
○入園案内等は直接、押付和光幼稚園へお問い合わせ下さい。（電話　三五二〇番）

子供を悪くしやすい親の態度

◇夫婦仲が悪く
いざこざが絶えない

（西川町青少年育成町民会議）

一円玉募金のお願い

西川町婦人協議会
会長　高橋亥恵

十月の赤い羽根募金に続いて、十一月は白いアルミニュームの一円玉募金を毎年お願い致しております。今年も婦人会の役員の方がお願いに上りますから、何とぞよろしく御協力下さいますよう重ねてお願いいたします。

白寿荘やミニコロニー「みずほ園」などの運営資金の一部にお役に立てて戴きたいと存じます。

限りある資源のアルミニュームの一円玉に、限りない皆様の御厚情によりまして、今年も一円でも多い事をお祈りして筆をおきます。

町民のうごき

おめでた

氏名	生月日	保護者	部落
安藤　靖	9/19	恒夫	下山
斎藤　陽子	9/20	司	川崎団地
曽山　亜希	10/1	勝	旗屋
植木　雄二	10/1	秋雄	東町
藤田　洋子	10/8	健一	新栄町

こけっこん

氏名（旧氏名）	世帯主	部落
佐野　俊典 （中村）久子	佐野　俊典	学校町
石山　篤 （笠井）礼子	石山　松雄	下山

おくやみ

氏名	年齢	死亡月日	世帯主	部落
森　セイ	73	10/8	本人	善光寺
加藤　数馬	83	10/9	本人	矢島

11月の衛生行事

月日(曜)	種目	対象	場所	時間	備考
11月1日(月)	精神一般相談	一般の希望者	西川荘	受付1：00～2：00	
11月10日(水)	血圧相談会	升潟地区の人で今まで血圧が高いといわれたことのある人（69歳までの方）	升潟小学校	受付1：10～1：30	個人通知
11月12日(金)	血圧相談会	曽根地区の人で今まで血圧が高いといわれたことのある人（69歳までの方）	福祉会館	受付1：10～1：30	個人通知
11月16日(火)	血圧相談会	鎧郷地区の人で今まで血圧が高いといわれたことのある人（69歳までの方）	西川町役場分館（いこいの家隣）	受付1：10～1：30	個人通知